

題名

私の社長、それは「日本のお父さん」

(氏名 経営効率化推進センター協同組合) 孫成波

私が研修生として福岡に来て2年が過ぎました。多くの人に助けられ、支えられながら毎日充実した実習生活を送っています。私は株式会社高崎組で働けることをとても幸運に感じています。それは、高崎組社長と出会って、人生で大切友「思いやり」の心を深く学んだからです。

そこで、今日は私が最も敬愛する高崎社長について話したいと思います。社長はとても誠実で人情に溢れた方です。研修の最初の頃、社長は研修生一人一人の能力や才能に応じて少しずつレベルアップしていきける研修を行って下さいました。人の得意で私達は研修に対する苦手意識を持たないで、必要友技術を学ぶことができました。人の得意友事を見分ける社長の観察力と細かい配慮がされた研修内容は、私達に対する社長の関心と思いやりだと気づいて、とても嬉しかったです。

ある日の事、日本に来たばかりで、知り合いもいないし、行く所もない私達の大母と

70歳になる社長が自ら車を運転し、私達を熊
 本の阿蘇へ観光に連れて行って下さいました
 。火山口を見て興奮している私達に社長はア
 ルバムを一人ずつ買い与え、「今後、皆が日
 本で行った所や触れたものを写真に撮って、
 5 これに綴じていき下さい。将来、皆が中国へ
 帰っても、ここで見たものや感じた事を忘れ
 ないでほしいから。」と、おっしゃいました。
 「私達は日本に来たばかりの友に、もう中国
 へ帰った後の話をする友に、社長は気が早
 10 い友に、心の中で思いましたが、その優しい
 言葉に心を打たれて、それからは人との出会
 いや見た事、感じた事の一点一点を大切にし
 友から研修生活を送りました。社長の思いや
 15 りの「一言」で私の価値観が変わり、それか
 らの行動が変わりました。
 突然ですが、私は相撲観戦が大好きです。
 去年の11月、九州場所で力士たちが福岡に来
 20 た時、社長は私を連れて相撲部屋に行き、力
 士達の稽古を見せてくれました。私にとって

の最高のプレゼントでした。社長は私達を単
 なる従業員ではなく、子供のように思って接
 して下さいます。社長の言葉や行動の一つ一
 つは、我が子に愛情を注ぐ父親みたいでいつ
 も「思いやり」でいっぱいです。社長は私の
 「日本のお父さん」です、この恩に対して、
 私は仕事で精一杯努力して、会社に貢献して
 報いるしかありません。

私がこの会社で学んだものは技能だけで
 はありません。ここで学んだ一番の宝は「思
 いやりは人に感動を与えて、人の価値観を変
 える。それが、その人の行動を変える、だか
 ら、その人の人生が変わる」という事です。
 この宝を中国へ持って帰って、「思いやりの
 心」で人に接していきたいと思えます。

今、私は社長への一つの約束をしています。
 それは、私が中国で結婚式を挙げる時は、社長
 に参加してもらおうことです。その日が来たら
 、成長した息子の晴れ舞台を「日本のお父さ
 ん」に見せたいと思っています。